

ケアポート板橋

千葉 貴史（舟渡・東坂下デイサービス／統括相談員）

- 功 績** 4月、インフルエンザ発症に伴い4日間の営業停止を余儀なくされ、結果予算対比マイナス50名からのスタートとなる。
千葉統括相談員を中心にチーム一丸となり、5月～7月の3か月間で予算対比+3名まで回復させた功績。
- 推 薦 者** 介護長 宇津木忠
- 推 薦 理 由** 感染症蔓延によるマイナス分を3か月という短期間で回復することができたのは、3デイサービスの特性や売りを熟知していると共に、ケアマネジャーからの絶対的な信頼を持つ千葉だからこそなし得ることができたと考え、この症例を推薦致します。

内 容

3月下旬、東坂下デイサービス利用者さんが発熱。同日に利用されていた利用者さん1名に風邪症状がみられ、その後デイサービス職員2名が4月に発熱。

受診した結果、インフルエンザA型陽性と診断。また当日利用されていた利用者さん3名も同様に発熱、罹患されたとの情報があり、看護、二宮医師と相談の上、一刻も早い沈静化の為、4月3日から事業休止の判断を行いました。

4月3日～6日までの利用予定者は約40名。今年度の予算設定はチャレンジ目標としており、例年の予算よりも目標数値を高く設定しておりました。年度初めという事もあり、この休止は職員の士気が下がりかねないと統括相談員の千葉は、追加利用の声かけを事業再開と同時に行っていきました。

4月の実績は予算対比-50名。このピンチをチャンスに変えるべく、統括している舟渡デイサービスの大規模減算Ⅱへの挑戦と併せ営業を開始。舟渡デイサービスの利用待ちであった方々の受け入れを一般デイで開始すると共に、舟渡ひまわり教室への移行者を一端東坂下で様子を見る。3事業所デーサービスの特性を活かしたサービス提供を実施することで利用率は上昇し、3か月間でのリハビリに成功することが出来ました。

3つのデイサービスの特性に、利用者さんのニーズをマッチングさせたこの功績は理事長賞にふさわしいと考え推薦致します。

・予算対比:4月-50名 ・5月+7名 ・6月+19名 ・7月+27名 累計:+3名